

川崎医療短期大学履修規程

(授業科目)

第1条 本学における授業科目の区分は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野、医療系分野とする。

2 各学科の授業科目及び単位数は、学則第9条別表1及び別表2に規定するところによる。

(単位の計算方法)

第2条 授業科目の単位の計算方法は、学則第10条に規定するところによる。

(履修方法)

第3条 各学科の履修方法は、別表1-(1)から別表1-(2)に規定するところによる。

(授業の方法)

第3条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うもののほか、多様なメディアを高度に利用して行うことができる。

2 前項により行う授業の実施については別に定める。

(履修単位数の上限)

第4条 各学期に履修登録することができる単位数の上限は、原則として32単位とする。

2 前項にかかわらず、当該学期の直前の学期の学業成績に基づき、履修単位数の上限を変更して取り扱う。

3 前項の履修単位数の上限の変更に関する事項は、別に定める。

(単位の認定)

第5条 授業科目の単位の認定は、試験と平常成績等を総合して行う。

2 試験は本試験、追試験及び再試験とする。

3 平常成績は、随時行う小試験、学習状況等で判定する。

(本試験)

第6条 本試験は、原則として各科目終了時に行う。

(追試験)

第7条 追試験は本試験を受験できなかった者について、本人の願い出により1回限り行う。

2 追試験を受けることのできる要件は、次の各号のいずれかに該当する場合に限る。

(1) 疾病又は負傷等止むを得ない事由が生じた場合

(2) 忌引き、就職試験等止むを得ない事由が生じた場合

(3) 火災、天災又は事故等のため、登校不能の事由が生じた場合

(4) その他止むを得ない事由と学長が認めた場合

(再試験)

第8条 本試験若しくは追試験に不合格となった者については、再試験を行うことができる。

(出席時数の不足した者の成績判定)

第9条 各授業科目につき出席時数が、授業実施時数の3分の2〔臨床(臨地)実習では実習時数の5分の4〕に達しない者については、原則として成績は判定しない。

(成績の評価)

第10条 成績の評価は100点法で表す。

2 再試験の合格者の成績はすべて60点とする。

- 3 60点以上の成績を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- 4 成績判定の評語は、優・良・可・不可とし、優・良・可を合格とする。その区分は下記のとおりである。

優 (80点以上) 良 (70点以上80点未満)
可 (60点以上70点未満) 不可 (60点未満)

- 5 臨地実習等の学外実習科目について、授業形態の特性から成績判定の期間内に判定できない場合、単位保留とすることができる。
- 6 単位保留の取扱いについては別に定める。
(GPA)

第11条 学業成績を総合的に判断する指標としてGrade Point Average (以下「GPA」という。)を用いる。

- 2 GPAに関し、必要な事項は別に定める。
(退学勧告等)

第12条 学業成績が著しく不振であると認められる場合は、退学勧告又は修学支援を行う。

- 2 退学勧告等の基準及び内容については、別に定める。
(不正行為に対する成績判定)

第13条 受験中に不正行為をした者については、別に定める学生懲戒規程による。

(卒業)

第14条 卒業認定については、学則第13条の1及び2に準ずることとし、詳細については、各学科において定める履修規程細則による。

(転学科生、再入学生の履修)

第15条 転学科した者は、当該者が所属する学科及び年次に在学する学生に適用する教育課程を履修する。

- 2 再入学した者は、当該者が所属する学科及び相当年次に在学する学生に適用する教育課程を履修する。

附 則

この規程は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和57年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和57年3月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、この規程施行の際、現に臨床検査科第2学年及び第3学年に在学する学生の履修方法は、なお従前の例による。

附 則

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成元年1月19日から施行する。

附 則 (平成元年3月 第3条改正)

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 この規程施行の際、現に第一看護科第2学年及び第3学年又は第二看護科第2学年に在学する者に係る履修方法については、この規程による改正後の第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 この規程施行の際、現に本学に在学する者の履修方法は、この規程による改正後の第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 この規程施行の際、現に本学第2学年及び第3学年に在学する者は、規程の改正にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年12月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成15年7月10日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。ただし、施行日前に臨床工学科へ入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。ただし、施行日前に臨床検査科及び放射線技術科へ入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。ただし、施行日前に第一看護科、臨床検査科、放射線技術科、臨床工学科及び介護福祉科に入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。ただし、施行日前に看護科、臨床検査科、放射線技術科、臨床工学科、介護福祉科、医療保育科へ入学し、現に在学する者については、改正後の学則第9条

別表1、別表2-(1)から2-(5)及び別表3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

ただし、施行日前に介護福祉科へ入学し、現に在学する者で、新カリキュラムの授業を旧カリキュラムとして履修認定を行う必要がある場合は、介護福祉科履修規程細則により履修認定を行うものとする。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。ただし、施行日前に医療保育科に入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。ただし、施行日前に医療保育科に入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、施行日前に医療介護福祉科に入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。ただし、施行日前に臨床検査科、放射線技術科、医療保育科に入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。ただし別表は令和2年4月1日入学生から適用する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。ただし、施行日前に看護科、医療介護福祉科に入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。ただし、施行日前に看護科、医療介護福祉科に入学し、現に在学する者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。ただし、施行日前に医療介護福祉学科に入学し、現に在学する者については、改正後の別表1-(2)にかかわらず、なお従前の例による。

看護学科

別表1-(1)

区分	授業科目	履修方法	単位		1単位当たりの時間数	授業時間数	配当年次及び時期	備考	区分	授業科目	履修方法	単位		1単位当たりの時間数	授業時間数	配当年次及び時期	備考	
			必修	選択								必修	選択					
基礎分野	科学的思考の 基礎	自然科学入門		2	15	30	1 前		基礎看護学	看護学概論		1		30	30	1 前		
		統計学		2		15	30	1 後			看護キャリア論			1	15	16	1 前	
		情報処理演習		2		15	30	1 前			基礎看護援助論 I		1		30	30	1 前	
		化学		2		15	30	1 前			基礎看護援助論 II		1		30	30	1 前	
		生物学		2		15	30	1 前(後)			基礎看護援助論 III		1		30	30	1 前	
	人間と生活・社会の理解	保健医療福祉概論		1		15	16	1 前			基礎看護援助論 IV		1		30	30	1 後	
		倫理学		2		15	30	1 前			ヘルスアセスメント		1		30	30	1 後	
		文章表現		2		15	30	1 前(後)			臨床看護援助論 I		1		30	30	2 前	
		心理学		2		15	30	1 後			臨床看護援助論 II		1		30	30	2 前	
		人間関係論		2		15	30	1 前			臨床看護援助論 III		1		30	30	2 後	
		家族社会学		2		15	30	1 後			看護過程論		2		15	30	2 前	
		健康体育基礎理論		2		15	30	1 前			地域・在宅看護概論		1		15	16	1 後	
		健康体育基礎演習		1		30	30	1 前			看護フィールドワーク論		1		15	16	1 後	
		基礎英語 I		2		15	30	1 前		いずれか選択	地域・在宅看護総論		1		30	30	2 前	
基礎英語 II		2		15	30	1 後		地域・在宅看護実践		1		30	30	2 後				
英語リーディング		2		15	30	2 前		ケアマネジメント論 I		1		15	16	2 後				
専門基礎分野	人体の構造と機能 I		1		30	30	1 前		ケアマネジメント論 II		1		15	16	2 後			
	人体の構造と機能 II		1		30	30	1 前		成人看護学概論		1		15	16	1 後			
	人体の構造と機能 III		1		30	30	1 前		成人看護援助論 I		1		30	30	2 前			
	人体の構造と機能 IV		1		30	30	1 後		成人看護援助論 II		1		30	30	2 前			
	看護解剖生理学		1		30	30	2 前		成人看護援助論 III		1		30	30	2 後			
	生化学		1		30	30	1 前		成人看護援助論 IV		1		30	30	2 後			
	臨床栄養学		1		30	30	1 後		成人看護援助論 V		1		30	30	2 後			
	臨床薬理学		1		30	30	1 後		周術期看護論		1		30	30	2 前			
	病理学総論		1		30	30	1 後		臨床看護アセスメント		1		30	30	2 後			
	臨床微生物学総論		1		30	30	1 後		老年看護学概論		1		15	16	1 後			
	病態治療学 I		1		30	30	1 後		高齢者援助論 I		1		30	30	2 前			
	病態治療学 II		1		30	30	1 後		高齢者援助論 II		1		30	30	2 後			
	病態治療学 III		1		30	30	1 後		終末期看護論		1		30	30	2 後			
	病態治療学 IV		1		30	30	2 前		小児看護学概論		1		15	16	1 後			
	病態治療学 V		1		30	30	2 前		小児看護援助論 I		1		30	30	2 前			
	臨床検査学・放射線学総論		1		15	16	2 前		小児看護援助論 II		1		30	30	2 後			
	医学概論		1		15	16	1 前		家族看護論		1		15	16	2 後			
	健康科学概論		1		15	16	1 前		母性看護学概論		1		15	16	1 後			
	衛生公衆衛生学		1		30	30	2 前		母性看護援助論 I		1		30	30	2 前			
	看護関係法規		1		15	16	3 後		母性看護援助論 II		1		30	30	2 後			
社会福祉学総論		1		15	16	3 後		保健指導論		1		15	16	2 後				
医療ソーシャルワーク論		1		15	16	3 後		精神看護学		1		15	16	1 後				
専門分野	精神看護学	精神保健と精神看護学概論		1		15	16	1 後		精神看護援助論 I		1		30	30	2 前		
		精神看護援助論 I		1		30	30	2 前		精神看護援助論 II		1		30	30	2 後		
		精神看護援助論 II		1		30	30	2 後		薬物療法と看護		1		30	30	2 後		
		薬物療法と看護		1		30	30	2 後		看護管理と医療安全		1		15	16	2 後		
	看護の統合と実践	看護管理と医療安全		1		15	16	2 後		看護研究		1		30	30	3 後		
		看護研究		1		30	30	3 後		災害看護学		1		15	16	3 後		
		災害看護学		1		15	16	3 後		看護倫理学		1		15	16	3 後		
		看護倫理学		1		15	16	3 後		総合看護演習		2		30	60	3 後		
	臨地実習	総合看護演習		2		30	60	3 後		基礎看護学実習 I		1		45	45	1 後		
		基礎看護学実習 I		1		45	45	1 後		基礎看護学実習 II		3		45	135	2 後		
		基礎看護学実習 II		3		45	135	2 後		地域・在宅看護論実習		2		45	90	3 前		
		地域・在宅看護論実習		2		45	90	3 前		成人看護学実習 I		3		45	135	3 前		
		成人看護学実習 I		3		45	135	3 前		成人看護学実習 II		3		45	135	3 前		
		成人看護学実習 II		3		45	135	3 前		老年看護学実習		3		45	135	3 前		
老年看護学実習			3		45	135	3 前		小児看護学実習		2		45	90	3 前			
小児看護学実習			2		45	90	3 前		母性看護学実習		2		45	90	3 前			
母性看護学実習		2		45	90	3 前		精神看護学実習		2		45	90	3 前				
精神看護学実習		2		45	90	3 前		看護の統合と実践実習		2		45	90	3 前				
看護の統合と実践実習		2		45	90	3 前												

医療介護福祉学科

別表1-(2)

区分	授業科目	履修方法	単位		1単位当たりの時間数	授業時間数	配当年次及び時期	備考	区分	授業科目	履修方法	単位		1単位当たりの時間数	授業時間数	配当年次及び時期	備考	
			必修	選択								必修	選択					
基礎分野	保健医療福祉概論	10単位以上	1		15	16	1	前	介護	介護過程の基礎	10単位以上	1		30	30	1	前	
	文章表現		2		15	30	1	前		介護過程の展開Ⅰ		1		30	30	1	後	
	心理学			2	15	30	1	後		介護過程の展開Ⅱ		1		30	30	1	後	
	自然科学入門			2	15	30	1	後		介護過程の展開Ⅲ		1		30	30	2	前	
	健康体育基礎理論			2	15	30	1	前		介護過程の展開Ⅳ		1		30	30	2	後	
	健康体育基礎演習		1		30	30	1	前		介護総合演習Ⅰ-1		1		30	30	1	前	
	情報処理演習		2		15	30	1	前		介護総合演習Ⅰ-2		1		30	30	1	後	
	統計学		2		15	30	1	後		介護総合演習Ⅰ-3		1		30	30	2	前	
	基礎英語Ⅰ			2	15	30	1	前		介護総合演習Ⅱ		1		30	30	2	後	
	専門基礎分野		人体の構造と機能	8単位以上	2		15	30		1		前	専門分野	介護総合演習Ⅱ	10単位	2		45
老年医学		2			15	30	2	前	介護実習Ⅰ-1	2		45		90		1	後	
医療倫理学			2		15	30	1	後	介護実習Ⅰ-2	2		45		90		2	前	
保健医療サービス			1		30	30	2	前	介護実習Ⅰ-3	2		45		90		2	後	
高齢者の看護と介護			2		15	30	1	後	介護実習Ⅱ	4		45		180		2	後	
口腔機能管理			1		30	30	2	前	こころとからだのしくみⅠ	1		30		30		1	前	
介護予防運動指導			1		30	30	2	後	こころとからだのしくみⅡ	1		30		30		1	後	
医療介護福祉総合演習Ⅰ		1			30	30	2	前	こころとからだのしくみⅢ	1		30		30		1	前	
医療介護福祉総合演習Ⅱ		1			30	30	2	後	こころとからだのしくみⅣ	1		30		30		1	後	
医療介護福祉総合演習Ⅲ		1			30	30	3	前	発達と老化の理解Ⅰ	1		30		30		1	前	
人間と社会	人間の尊厳と自立	16単位	2		15	30	1	後	医療系分野	発達と老化の理解Ⅱ	3単位	1		30	30	1	後	
	人間関係とコミュニケーション		2		15	30	2	前		認知症の理解Ⅰ		1		30	30	2	前	
	チームマネジメントⅠ		2		15	30	2	後		認知症の理解Ⅱ		1		30	30	2	前	
	社会と制度の理解Ⅰ		2		15	30	2	前		障害の理解Ⅰ		1		30	30	1	後	
	社会と制度の理解Ⅱ		2		15	30	2	後		障害の理解Ⅱ		1		30	30	2	前	
	社会福祉の原理と政策		2		15	30	1	前		医療的ケアⅠ		1		30	30	1	後	
	社会学と社会システム		2		15	30	2	後		医療的ケアⅡ		1		30	30	2	前	
	異文化理解		2		15	30	2	前		医療的ケアⅢ		1		30	30	2	後	
	利用者理解		1		30	30	1	前		疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ		2		15	30	3	前	
	介護とは何か		1		30	30	1	後		疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ		2		15	30	3	後	
専門分野	尊厳を支える介護	37単位	1		30	30	2	前	医療系分野	生活支援のための運動学・型ハビリテーションの知識	4単位以上	2		15	30	3	後	
	介護労働者の健康管理		1		30	30	2	後		福祉用具と住環境		2		15	30	3	後	
	終末期の介護		1		30	30	2	後		認知症のある人への生活支援・連携		2		15	30	3	後	
	リハビリテーション論		1		30	30	2	前		心理的支援の知識・技術		2		15	30	3	後	
	コミュニケーションⅠ		1		30	30	1	前		医療心理学		2		15	30	3	後	
	コミュニケーションⅡ		1		30	30	1	後		介護技術Ⅴ		1		30	30	3	前	
	生活支援		1		30	30	1	後		医療介護福祉実習指導		1		30	30	3	前	
	生活支援（食生活）Ⅰ		1		30	30	1	前		医療介護福祉（病院実習）		4		45	180	3	前	
	生活支援（食生活）Ⅱ		1		30	30	1	前		地域包括ケアと介護		2		15	30	3	後	
	生活支援（衣生活・住居）		1		30	30	2	前		地域介護実践実習指導		1		30	30	3	後	
介護	介護技術Ⅰ	37単位	1		30	30	1	前	実習科目群	地域介護実践実習	13単位	4		45	180	3	後	
	介護技術Ⅱ		1		30	30	1	前		介護管理		4		15	30	3	後	
	介護技術Ⅲ		1		30	30	1	後		チームマネジメントⅡ		2		15	30	3	前	
	介護技術Ⅳ		1		30	30	1	後		医療福祉施設経営論		2		15	30	3	後	
	障害に応じた介護Ⅰ		1		30	30	2	前										
	障害に応じた介護Ⅱ		1		30	30	2	後										